

■ミレニアムシティ大学設立宣言

ミレニアムシティ大学とは、ひと言でいえば、「宗教（団体）に入信しなくても、幸せになれる方法を学び、かつ実現する場」である。

ミレニアムシティ大学とは、端的にいえば、「都市づくり道楽」の具体的な内容の発明とその行動を通して、ひとりひとりの人間の内なる気づきと覚醒を呼びおこし、広く普及、啓蒙することで、世界恒久平和と、すべての人々の恒久幸福を実現するための場づくりであり、教育、学問、相互学習そして世界全体への貢献と自己超克の実現のためのハードとソフトの両面さらには科学と精神世界の両面にわたる可能性の場づくりである。そして「都市づくり道楽」とは次の1から7までのすべての内容を満たすものである。

- それは、「お金に使われてしまうほどの質を伴った、収入（対価）をえる手段ではないこと。つまり一般的には、「^{なりわい}生業」であるとか「本業」と呼ばれるものではない。ただし、それによってお金に使われない状態を保てるならば、それらも含める可能性もある。「お金に使われる」とは、お金のために自分の魂を売ってしまうことである。私利私欲から他者やまわりに害を与えてしまうことを指す。
- 一般的には、ボランティア（自ら進んで行うという意味での）行為がわかりやすい例である。ボランティア行為は、有償、無償どちらでも可。ボランティア行為の他に、他者へのおもいやり、かづけ等、他者の幸福や、自他共の幸福へつなげる直接的なもの、間接的なものすべての「利他の行為」全般を指す。
- 非対立であること。独善的でないこと。「独善」と「対立」はすなわち争いを呼ぶ。平和的行為でなければ本末転倒となってしまう意義がなくなる。
- 全くの「利己的行為」でないこと。「私利私欲」がその中にかくされてもいないこと。
- そのために、「配慮範囲」については、空間軸の広がりについては、最小でも「地球全体」、「世界全体」まで広げて我がこととして考える必要がある。「地域」や「国」のレベルで止まってしまうと、「ナショナルリズム」や「地域原理主義」につながりやすくなり、紛争や、戦争は避けられないからだ。そこまで範囲を広げ、匿名性も含んだ多種多様な違いまで含めて調和していくという意図から「都市づくり」という表現をつけているのである。時間軸の広がりには、少なくとも人間が猿だった頃に、自然の中に群れて集団で自然と共に暮らしていた頃からの過去と、その後の歴史、文化、文明、宗教、科学等の発展と時には衰退も含めた過去全体と現在の状況そして未来については、ネイティブインディアンの言葉にあるように七世代先、つまり少なくとも一五〇年先まで配慮して自分のこととして扱う必要があるということとした。
- それは、あくまで「道楽」として自らを楽しませ、歓喜を呼びおこし自らの生命エネルギーを高めるものであること。そして、自らの中にこのような状態を保ち続け、持続させるための「コンテクスト」（文脈）をつくり続けられるものであること。いいかえるならば、その行為をすることに対して「自分を常に、触発し、ワクワクさせ、止められない状態」にするための「コンテクスト（文脈）」「ストーリー」づくりを、自分で常につくり続けられる魅力的な内容とすることが極めて重要になってくるからだ。利他的で一時的なもの、「都市づくり道楽」にはなりにくいからだ。
- 理想とビジョンに基づきつつも、プラグマティズム（実際主義）であること。机上の空論や、妄想にふけていたのでは、結局何も解決できない。現実化すること、それが充分可能である必要がある。ポイントは、一般大衆の人々が「自分でも多少頑張れば、十分にそれは可能である」と思えることが重要である、様々なしくみを組み合わせることでそれは可能になる。だれもがリーダーになれる、なるしくみ等々多くの実現可能な可能性を組み合わせる等も有効だろう。

以上が「都市づくり道楽」の定義である。

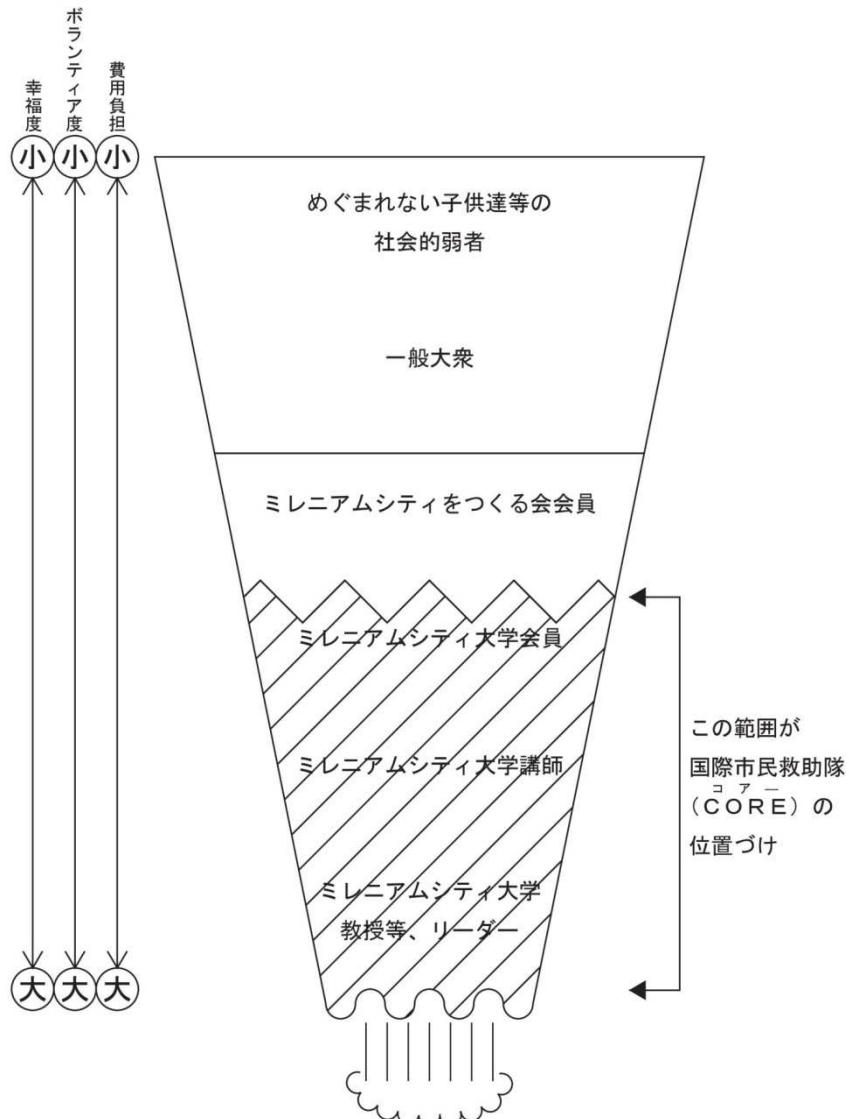
従って、発明される「都市づくり道楽」の具体的な内容は人によって様々であり、それは無限の広がりをもつだろう。

それらによって地球上がおおわれた時、本当に世界恒久平和とすべての人々の恒久幸福が訪れるに違いないと確信している。そのための可能性の場づくりが、ミレニアムシティ大学である。


こまごまひとつ、わかりやすさのためにも具体的に、究極の「都市づくり道楽」のひとつを提案したい。それは、名づけて、「コスモポリタン・オーガニック・レスキュー（Cosmopolitan-Organic-Rescue、略してCORE〈コア〉）」直訳すると、「国際市民救助隊」の提案である。「国際市民救助隊」の役割は2つある。ひとつは、災害時、緊急時等への対応としての物理的な人命救助や緊急医療対応や生活支援等の役割である。ふたつめは、日常的に世界市民として、地域や国の枠を超えて、地球全体のことを、未来にわたるまで配慮し、無害、無毒なオーガニックな食や生き方（ライフスタイル）自体と礎と未来を提供することで、弱肉強食状態にある現代社会の病弊、たとえば「獣の世（けものよ）」から人々を救いだす役割である。これら2つの役割のいずれかまたは両方の役割をもった人々が「国際市民救助隊」である。故に「国際市民救助隊」には、誰でもなることができる。老若男女、あらゆる立場、あらゆる境涯の人がなりえる。そして、「国際市民救助隊」を創りだし、育てる養成所が、まさしくミレニアムシティ大学であり、その大きな目的のひとつとなる。

以上のような趣旨にのっとり、ここにミレニアムシティ大学（University of Millennium City）を設立するものとする。

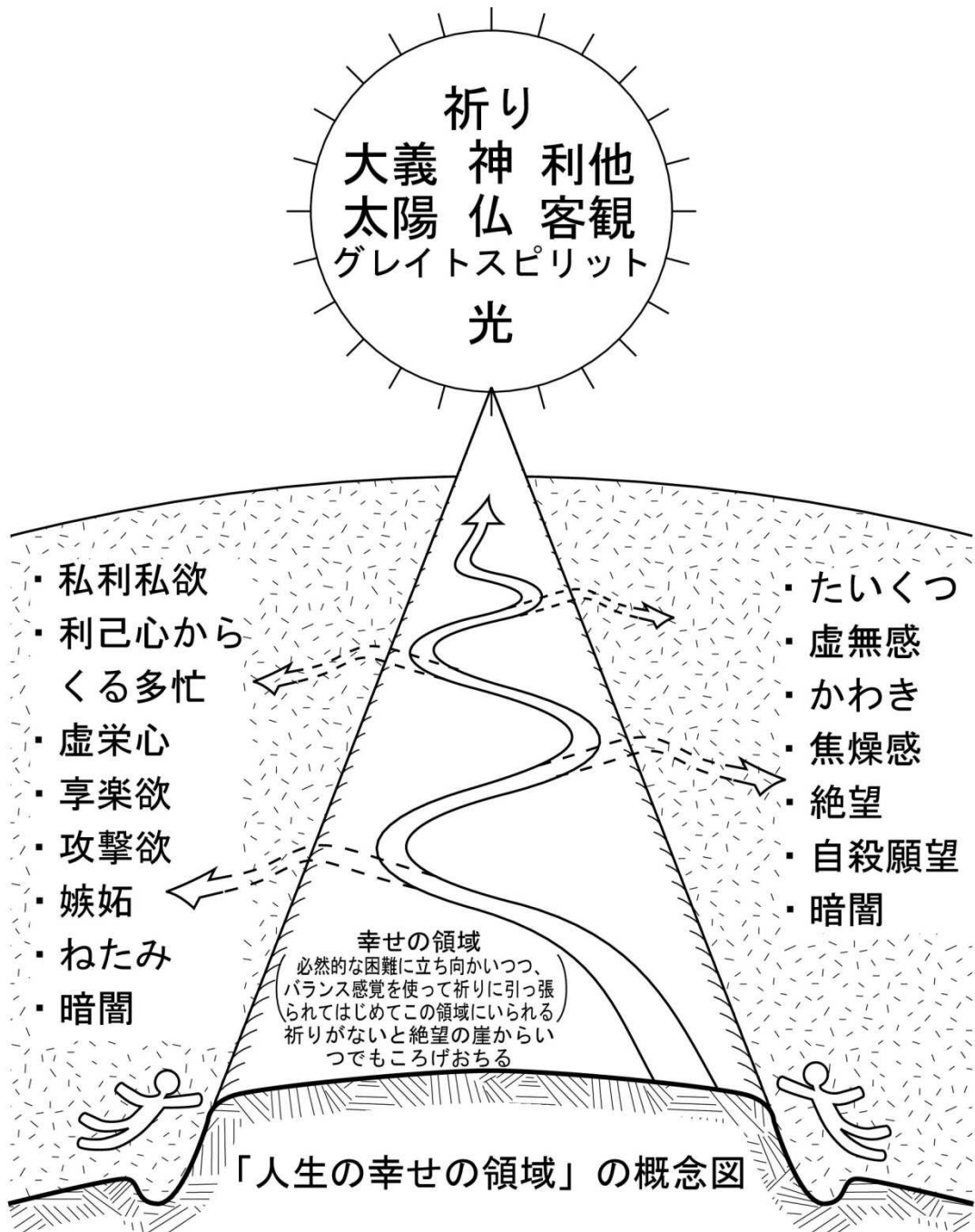
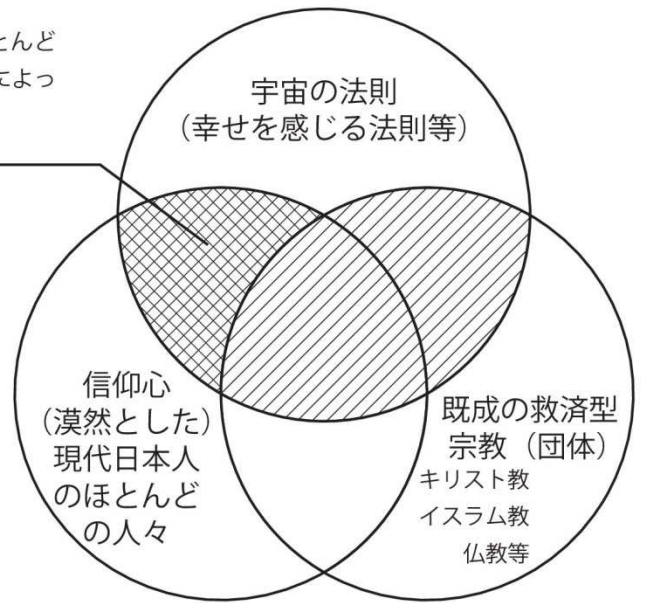
・ミレニアムシティ大学の役割分担及び国際市民救助隊の位置づけのイメージ （逆パベルの塔方式又はさかさ富士方式）



・「ミレニアムシティ大学」によって養成される「国際市民救助隊」が救助して導くエリアの概念図

 : 主に既成の救済型宗教にとび込めない人々（現代日本人のほとんど約1億人以上の人々）を対象にして「ミレニアムシティ大学」によって養成される「国際市民救助隊」が救助して導くエリア

  : 救われる人々の範囲



■ミレニアムシティ大学・ネットワーク講座(案)

ミレニアムシティをつくる会会員のなかの有志は、月額 5,000 円 (税別) を会費としてくりもとミレニアムシティ有限会社に支払うことで、ミレニアムシティ大学会員 (国際市民救助隊隊員) となることができ、ミレニアムシティ大学が提供する各種講座等を特別料金で受講することができます。(詳細については別途資料参照して下さい。)

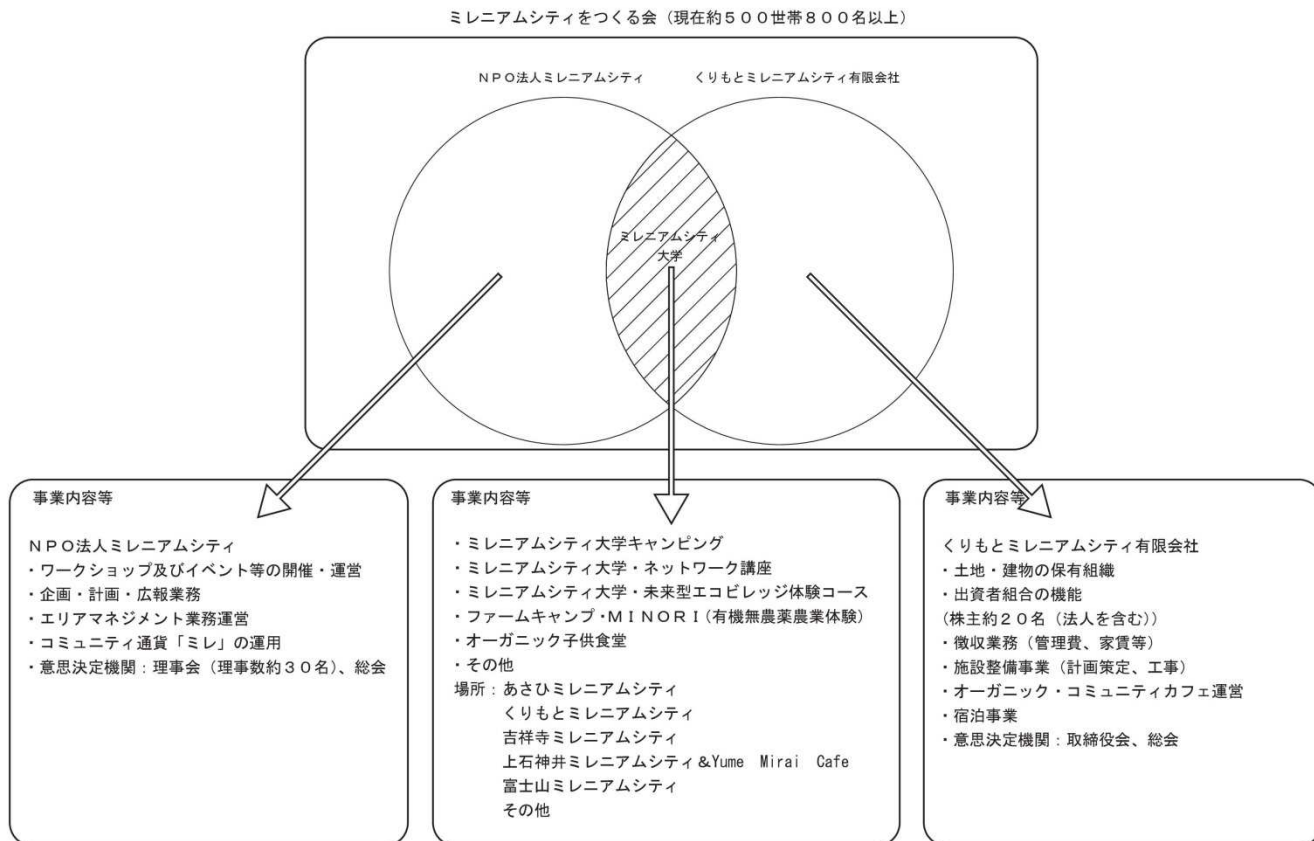
また、ミレニアムシティ大学・未来型エコビレッジ体験コースのコース3 (ゼネラル入門コース) 以上のコースを修了した方またはコース2 (入門初等コース) を2回以上修了した方の中の有志が教授や講師等 (以下教授等という) になって (仮) ミレニアムシティ大学審査会を経て調整予定) 得意とする各専門分野にわたり、ミレニアムシティ大学・ネットワーク講座を実践します。(ただし、(仮) ミレニアムシティ大学審査会が承認した場合は、コース参加の前提を緩和または免除することができます。)

(仮) ミレニアムシティ大学審査会を経て就任した教授等は、会費とは別に寄付として月額 5,000 円 (税別) をくりもとミレニアムシティ有限会社 (以下くりもと有限という) に支払うことで、ミレニアムシティ大学・ネットワーク講座の中にご自分の講座を持つことができます。この講座の内容に関しては、ミレニアムシティの趣旨に沿うかたちであり、これに反しない限り原則自由です。

ミレニアムシティとしては、メーリングリストやホームページ、年次リポート誌や関連するフェイスブック等でこれらの講座についてのアナウンス、広報を随時行う予定です。

また、教授等は、他の教授等が行う講座等を特別料金にて受講することも可能です。(詳細については別途資料参照して下さい。)

・ミレニアムシティの事業スキーム、役割分担及び事業内容



■ミレニアムシティ大学・未来型エコビレッジ体験コース プログラム(案)

コース1以外はミレニアムシティをつくる会（以下つくる会という）への入会（世帯単位）が前提となります。料金はすべて消費税は別途。小学生半額、小学生未満は無料。（小学生以下の参加には保護者の方の同伴が必要です。）

また、ミレニアムシティ大学会員（国際市民救助隊員）〈世帯単位〉はさらに 30%OFFの料金で、教授等（世帯単位）は、50%OFFの料金でOK。

コース名	概要（標準的内容、そのつど変更の可能性あり）
コース1 （入門おためしコース） 従来のワークショップ形式	1泊2日間 参加費：6,000円/人、 つくる会 5300円/人 ・2食付（原則として参加者全員による共同自炊による） ・無農薬農業体験等 ・宇宙清掃（施設メンテナンス&クリーンアップ体験等） ・夢と未来を語る会開催
コース2 （入門初等コース） 場所：あさひミレニアムシティ	3泊4日間 参加費：34,000円/人 ・7食付（原則として参加者全員による共同自炊による） ・パワーポイントレクチャー×1回 ・ミレニアムシティ大学テキストによるレクチャー（テキスト代含む） ・無農薬農作業体験等 ・夢と未来を語る会開催
コース3 （ゼネラル入門コース） 場所：あさひミレニアムシティ&くりもと ミレニアムシティ	6泊7日間 参加費：67000円/人 ・13食付（原則として参加者全員による共同自炊による） ・パワーポイントレクチャー×2回 ・ミレニアムシティ大学テキストによるレクチャー（テキスト代含む） ・くりもとミレニアムシティ視察・レクチャー×1回 ・大松農場見学・大松秀雄氏によるレクチャー×1回 ・大原幽学記念館視察×1回 （世界初の農業協同組合を設立した大原幽学の思想を学ぶ） ・無農薬農作業体験等 ・夢と未来を語る会開催 ・簡単な試験を行い、合格した方に修了証を発行します。
コース名	概要（標準的内容、そのつど変更の可能性あり）
コース4 （ワーカーズホリデイコース）コース3 を1回以上またはコース2を2回以上修 了した方のみ対象となります。（ただし、 （仮）ミレニアムシティ大学審査会が承認し た場合はこの限りではありません） 場所：あさひミレニアムシティ	コース期間中 ミレニアムシティの管理・運營業務や農作業等を手伝いながら、ある程度の期間ミレニアムシティ に滞在してじっくり体験するコース。（ただし、労働の姿勢等によっては途中であってもおことわり させていただく場合があります。） 宿泊費、光熱費、原則2食/日付(管理人の指示による自炊が前提となります)
1ヶ月コース	参加費：6万円/人・1ヶ月
3ヶ月コース	参加費：15万円/人・3ヶ月
コース5 （リーダー育成コース） コース3を1回以上またはコース2を2 回以上修了した方のみ対象となります（た だし、（仮）ミレニアムシティ大学審査会が 承認した場合はこの限りではありません） 場所：あさひミレ& くりもとミレ& 上石神井ミレ& 吉祥寺ミレ& 富士山ミレ を適宜選択して行います。	参加費：450,000円/人（資料代含む） ミレニアムシティのネットワーク・モバイル・エコビレッジによる新しいコミュニティ像と都市像 の実例モデルの経営、運営の実践について学ぶコース。リーダー養成プログラム。 その年の1年間のうち計12日間（期間を分散して数回開催予定）を使ってネットワーク・モバイル ・エコビレッジの企画から建設、運営にわたる実務的ノウハウを修得するコース。 会社設立や基本的税務の知識、組織運営のノウハウ、エコビレッジ経営に必要なノウハウ等の全般 について、体験も通して学ぶスペシャルプログラムを用意しています。 （詳細は別途資料を参照して下さい。）

■あさひミレニアムシティ宿泊体験料金(案)

宿泊はすべてミレニアムシティをつくる会の会員（世帯単位）であることが前提。（ゲストの方はその場で入会可能です。）

また、ミレニアムシティ大学会員（国際市民救助隊員）〈世帯単位〉はさらに 30%OFFの料金で、教授等（世帯単位）は、50%OFFの料金でOK。

		平日	土日祝前日	お盆、年末、年始、ゴールデンウィーク中（期間を決める）
まり	一室1人使用	4,000円/人	5,000円/人	10,000円/人
	一室2人使用	3,500円/人	4,500円/人	9,000円/人
素泊	一室3人使用	3,000円/人	4,000円/人	8,000円/人